

16歳からのけやき共室（仮）

16歳からのけやき共室

構想

不登校が増加する中、卒業後の自立に不安を抱えている生徒が多く見られる。特に、通信制高校に進学し、学習継続に困難を感じる生徒が目立つようになった。それらの生徒に切れ目のない支援をとおして学びの継続と自立を促したい。しかし、当事者からすると支援対象になることへの心理的抵抗が予想される。そのため、卒業生が「16歳からのけやき共室」に希望登録し、学びの継続と生活の安定を促す活動を行う。

目的

- 0歳から18歳までの切れ目のない支援を行う。
- 生徒の安定的な中高接続を狙う。
- 生徒が主体的に登録するものとし、表の教育と影の支援を可能とする。

実施要項

- 対象：義務教育卒業生
- 登録期間：9年3学期～4月上旬
- 流れ
 - ①生徒・保護者から登録
 - ②SSWと生徒・保護者面談：教室の案内・聞き取り（支援のアセスメント）
 - ③生徒希望による活動参加・相談

活動のイメージ

学習場の提供

こども教育センターOLAIを開放し、平日日中の自習室として学習

学習活動の推進

けやき体験学習のボランティアスタッフや地域の活動に参加

けやき教室のサポート

それぞれのスキルを活かし、けやき教室在籍児童生徒へのピアサポート

けやき相談チームの相談・支援